

令和 3 年 11 月
地方競馬全国協会

令和 3 年分支払調書に係るマイナンバーの収集について

制度の概要

- 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が導入されたことに伴い、賞金の支払調書の提出義務者（各地方競馬主催者）は、平成 28 年 1 月 1 日以後の賞金の支払いに係る支払調書に、賞金の支払いを受ける方のマイナンバーを記載することを義務付けられております。
- 賞金の支払調書は、対象年において 1 回の支払賞金額が 75 万円を超えるものの支払を受けた馬主に係るその年中の全ての支払金額について提出が義務付けられているものであり、令和 3 年に開催された地方競馬において上記に該当する馬主のマイナンバーが必要となります。

地方競馬主催者における運用

- 帯広市（ばんえい競馬）を除く地方競馬 13 主催者（※）は、支払調書の作成に必要な マイナンバーの収集及び管理業務を株式会社パイプドビッツに委託して実施しております。

このため、令和 3 年分の支払調書に係るマイナンバーの提供について、本年 11 月以降に株式会社パイプドビッツより収集が必要となる馬主に対してご依頼をさせていただきますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

（※）地方競馬 13 主催者

北海道、岩手県競馬組合、埼玉県浦和競馬組合、千葉県競馬組合、特別区競馬組合、神奈川県川崎競馬組合、石川県、金沢市、岐阜県地方競馬組合、愛知県競馬組合、兵庫県競馬組合、高知県競馬組合、佐賀県競馬組合

（添付資料）

- 1 よくあるご質問
- 2 株式会社パイプドビッツの会社概要

よくあるご質問

◆株式会社パイプロビッツからマイナンバーの収集通知はいつ届くのか

①2021年1月1日～11月15日に一回75万円を超える賞金を獲得した方

▷2021年11月下旬にご依頼予定

②2021年11月16日～12月31日に一回75万円を超える賞金を獲得した方

▷2022年1月中旬にご依頼予定

◆これまでにマイナンバーを提出したことがある場合でも再びマイナンバーの提供をご依頼することがある理由

マイナンバーの適正な取扱いを確保したうえで、その収集及び管理を効率的に行うため、業務委託をするにあたり特定個人情報保護委員会事務局（以下「事務局」という。）に問合せをしております。事務局からは、『地方競馬各主催者がマイナンバーの収集及び管理業務を同一業者に委託したとしても、**収集したマイナンバーを主催者間で共有することはできない。**つまり、どの主催者に対して提出されたマイナンバーであるのかについて、委託業者において明確に分けて管理する必要がある』旨の指摘を受けております。

したがって、これまでにいずれかの地方競馬主催者からの求めに応じてマイナンバーをご提出された場合であっても、他の地方競馬主催者で一定の賞金を受領された場合には当該主催者よりマイナンバーの提供をご依頼させていただきます。この場合、大変お手数ではございますが、必要書類の提出にご協力をお願いいたします。

◆年2回に分けてマイナンバーの提供をご依頼をする理由

本年のレースが全て終了してから、支払調書を税務署に提出するまでの期限（翌年1月31日）が非常に短いため、収集を年2回に分けることで皆様方の返送作業の時間を確保し、調書の作成を確実に進めます。

また、賞金の支払いが発生した地方競馬主催者ごとにマイナンバーの収集を依頼するため、1回目（2021年11月下旬）、2回目（2022年1月中旬）それぞれ別の主催者からマイナンバーの提供のご依頼をさせていただくことがあります。この場合、大変お手数ではございますが、依頼の都度、必要書類の提出にご協力をお願いいたします。

項目	詳細
商号	株式会社パイプドビッツ
設立年月日	2000年(平成12年) 4月 3日
本社所在地	東京都港区赤坂 2丁目9番11号 オリックス赤坂2丁目ビル(受付2F)
代表者	代表取締役社長 CEO 林 哲也
資本金	300,000千円(2021年8月末現在)
株主	パイプドHD株式会社(100%保有) (東京証券取引所市場第一部上場企業)
事業内容	情報資産プラットフォーム事業 SaaS事業 ソリューション事業
認定	プライバシーマーク 10820057 (10) ,ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014 (IS 90515) ,ISO/IEC 27017:2015 / JIS Q 27017:2016 (JIP-ISMS517-1.0) [CLOUD 702661] 特定個人情報ASP・SaaS情報開示認定制度 etc.
従業員数	331名(2021年8月末現在)

情報資産の銀行

当社は、「情報資産の銀行」を事業コンセプトに「情報資産プラットフォーム事業」を行っております。情報資産の銀行とは、多様なクライアントに対して、

- (1) 安全で安心して情報を預けられる環境と、
 - (2) クライアントのビジネスに役立つソリューションを提供し、
 - (3) ビジネスの現場で活躍するユーザーが生み出す付加価値の向上を支援する、当社のプラットフォーム事業の目指すべき姿であります。
- 金融資産を預り資産運用のお手伝いをする銀行のように、法人のお客様から情報資産を安全にお預かりし、有効活用していただくサービスを提供しながら、情報生活の質の向上に貢献しております。

HP : <https://www.pi-pe.co.jp/company/business/>

マイナンバー関連事業について

マイナンバー制度が開始した2015年度よりマイナンバー管理サービス（システム）の提供を開始し、現在約50社にご利用いただいております。また、システムの提供のみならず、マイナンバーの収集から承認業務、支払調書の作成業務の代行も行っており、企業様のマイナンバー関連業務の安全運用をお手伝いしております。

2019年度（令和元年度）から地方競馬13主催者は、マイナンバーの収集及び管理業務を株式会社パイプドビッツに委託しています。